

みさき

臨時号

美咲町議会だより

2008年3月10日発行

ベンチェー市（ベトナム）訪問調査報告



ベンチェー市との交流合意書に調印（ベンチェー省内 1月29日）



何でもそろそろベンチェー市場の野菜売り場



ベトナムの魚フライ料理

広報みさき 3月号と合わせてご覧ください

ベンチエー市と 交流協定に合意

一月二十八日から一月三十一日、ベトナムを研修視察した。美咲町のキャッチ

フレーズの「世界にはばたく 元気な美咲町」を受け、異文化との人的・文化、そして、経済の交流が目的である。

多くのアジア諸国の中、岡山県日本ベトナム友好協会の協力で、ベンチエー市を選んだ。

二十八日、ベトナム日本友好協会を訪問、そして、ベンチエー省庁へ、主席(知事)に花束贈呈で温かく歓迎された。最初のあいさつの中で、美咲町との友好協定を心から理解され、協定書にサインがなされた。予想以上のこの成果は、ベトナム友好協会の大橋さんと、現地の佐藤さんご夫妻のご尽力のたまもの。心より感謝申し上げます。

ベトナムは日本の地方分権構造とは違い、まったく縦割りであり、市のことは

省がすべて決めてしまうようである。

ベンチエー市側の交流条件は、まず、人的交流を希望。文化・経済交流も強く、希望しているが急ぐのではなく、ゆっくり時間をかけていきたいとのこと。

三日間の滞在で、農園、水産加工場、造成中の工業団地、ココナッツ工場、ベンチエー市場、ピンフー小学校、ベトナム友好協会な

どを研修視察した。

今、アジアの国々の連携は急速に進んでいる。日本人ももっとアジアとの幅広い交流を持つべきである。

今回はベトナム訪問だけであるが、あまりにも日本人は内向きになっていると痛感した。今や世界全体、少なくともアジア諸国は日本にとっては仲間であり、経済相手国である。人、物、金が国を越えて移動している。農業分野、労働市場などに我々もどんどん目を向けていくべきであることを今回の研修で学んだ。

議長 定本 一友



にぎやかなホーチミン市内の道路



きれいに並べた豊富なベトナムの果物(ベンチエー市場)



ベトナム友好協会の人と記念撮影(前列中央が協会会長)



拍手で迎えてくれるピンフー小学校の4年生

視察に参加して

時間はかかるが成功すれば、日本の市町村とベトナムの都市との交流の先がけにもなる。今後、産業、教育、文化などの交流で、美咲町のまちづくりの活路になればと考える。

日本は少子高齢化だが、ベトナムでは子供、若者の姿が多く見つけられ活力に満ちている。道路には何kmと単車の列、二人乗り、親子三人乗りの単車、ベトナムの単車の多さにはビックリ。

メコン川

たくさんの船が行き交っている。
ベンチエー市はメコン川の中洲。
肥よくな土地はメコンの流れから生まれた。



ベンチエーののどかな町並み、この奥に民芸品工場も



果樹園の中に農家が点在、家の周辺には数種類の豊富な果物がある



カカオの木



ミトー市からベンチエー市へ夢のかけ橋、20年末に完成予定
飛躍的な発展が予想される



日本からの進出が期待される工業団地
敷地も人手も十分
美咲町からも期待

ベンチエー市は現在、外資の導入が盛ん。ココナッツ工場はスリランカの資本。一〇〇haの広大な新工業団地ではすでに縫製工場が動いている。インフラ整備は緒に付いたばかりとの印象であるが、人々の表情は活気に満ちて明るい。

なにはともあれ、世界中から今後の発展に注目が集まっているベトナムとの交流が始まった。まずはお互いをよく知り、理解するところから始めなければならない。

交流は、五年、十年と長期的に十分理解し合い、慎重に進めて行くことが大切である。「百聞は一見にしかず」多くの人の目と心で見えて来ることが一番と感じた。

ベンチエー市はメコン川のデルタ地帯にあり、平担地が延々と続き山はない。

稲作は、物の直播により栽培、ほとんど人力で耕作、脱穀のみ機械を導入しており、二期作を行っている。

米はタイに次いで輸出量世界第二位。コーヒー豆もブラジルに次ぎ第二位だ。



海鮮を中心のベトナム料理
日本人の口にも合う。匂いのきついハーブには閉口
集まれば鍋料理がベトナム風とか



320人の児童が午前と午後に別れて授業
笑顔がすばらしいベンチャーの子どもたち



先生は女性が多かった（ビンフー小学校）



ベンチャー市に在住の佐藤さんご夫婦

お世話になったベトナム友好協会大橋さん、
現地の佐藤さんご夫婦に心からお礼申し上げ
ます。
シンガモン（ありがとう）



ベトナム日本友好協会会長（中央）と大橋さん（右）

日本への感情も良好、あいさ
つの「チャオ」とありがとうの
「ガモン」で買い物もジェスチ
ャーと笑顔で大丈夫。毎月一万
円の貯金で一年後にはベンチエ
ー市へ。

残った。
若者もベトナムに来て指導して
ほしい。」切実な言葉が印象に
残った。
「日本のためにもベトナムの
若者を日本に送りたい。日本の
若者もベトナムに来て指導して
ほしい。」切実な言葉が印象に
残った。

人的・文化交流はできる国と
友好を深めることが望ましいと
痛感した。日本と生活習慣も似
ているベトナムのベンチャー市を
選択していくことも重要と認識

みてください。
はあるが、機会があれば訪れて
みてください。

ベトナム・ベンチャー省でフ
エリーをチャーターし、全行程
の現地案内、親睦会の費用負担
と大変なもてなしを受けた。
知事は「交流において人口の
多少、面積の大小は問題でない、
慎重に考えて進めよう。」と明
言された。